

公益社団法人 日本天文学会理事会議事録

日 時：2017年5月20日（土） 13時～15時45分

場 所：京都大学東京オフィス・大会議室A（千代田区丸の内1-5-1新丸の内ビル10階）

出席理事：市川、半田、望月、山下、中村、柴田、熊谷、山岡、政井、寺島、町田（以上11名）

出席監事：松原（以上1名）

欠席理事：嶋作、青木、佐藤、須佐（以上4名）

欠席監事：渡邊（以上1名）

また、次期会長候補の柴田一成氏、次期副会長候補の土居氏、林左絵子氏（ハワイより Zoomにて）、次期理事候補の徂徠、伊藤、春日、伊王野、早野、寺田氏がオブザーバーとして出席した。さらに、佐藤事務長、黒岩事務長補佐、田口谷事務員が出席した。

I. 確認事項など

I-1. 議事に先立ち、出席者が11名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。

定款に基づき、議長と署名人が以下のように確認された。

議 長：市川 隆

署名人：市川 隆、半田利弘、望月優子、松原英雄

I-2. 前回議事録の確認

資料2に基づき、前回（2017年3月15日）の理事会議事録が報告され、文言の修正の後、確認された。

II. 報告

II-1. 移籍・退会等の報告

2017年3月9日～2017年5月17日までに正会員26名、準会員14名、準→正の移籍2名、正→準11名、正会員退会者124名、準会員退会42名、賛助会員退会2名の報告があった。

II-2. 公益社団法人2016年度監査報告（資料4、松原）

資料に基づき、適正に執行されていることを確認した。

II-3. 各担当理事等の現状報告

1. 年会担当（山下代読）：秋季年会の準備をしている。企画セッションはなし。
2. 月報（山下代読）：月報担当引継ぎを進めている。特集号の準備を進めている。
3. 庶務理事（山下）：事業報告をまとめた。
4. 会計理事（柴田）：決算報告をまとめた。
5. 天文教育（山岡）：講師紹介プログラムは活発に活動している。3月から2件問い合わせがあり、現在交渉中。公開講演会のマニュアル作り、大学の天文教育に関する文書のまとめを継続で行っている。
6. PASJ（山下代読）60,270英国ポンドの黒字があり、近々送金される予定。2018年の購読料を決定した。昨年から比べ、1～5%値上がり。

II-4. 今後の年会進捗状況の報告

1. 北大（徂徠）：順調に準備を進めている。ホームページはできている。保育室について、給湯施設が近くになく、学内の給湯施設が使用可能か交渉中。
2. 千葉大：担当者欠席につき報告なし

II-5. 春季年会における不審者と今後の対応について（望月）

九州大で開催された春季年会会場で、現地事務局（報道）関係者のふりをして会場等において無断で写真撮影をされたということが複数あった。今後の年会でも十分に注意が必要である。開催地大学のHP等で防犯カメラがあるとの明示をすること、また年会実行委員会にて、年会保育室の安全確認、参加証の提示のない人物が（特定の）会場に出入りするのをアルバイトが空いている時間帯でチェックする可能性や、プログラムの会合一覧表にある「一般参加可否の説明（オープン化の程度）」のA-Dカテゴリの表現の工夫等を検討することになった。

II-6. 天文用語集ワーキンググループの活動（資料6、半田）

シリーズ現代の天文学別巻「天文学辞典」をもとに、解説付きの学術用語集を作り公開する。広く国民に利用してもらうためにインターネットで無償公開するための経費を確保するため、こどもゆめ基金に応募し採択された。実作業のためにワーキンググループを増員し、13名とした。今後の事業の進め方については、次期理事会の下で検討を続ける。理事会との繋がりを確保するため、次期副会長候補（土居守の予定）がワーキンググループに新たに加わる予定。

II-7. 引継ぎ報告（山下）

4月16日三鷹キャンパス大会議室で13時～17時まで新旧実務理事の引継ぎを行った。

II-8. 推薦委員会委員長の選出について（山下）

推薦委員会の互選で、広島大の川端氏が委員長になった。

II-9. 事務所・近況報告（佐藤）

短時間契約職員が2名退職し、2名新職員の採用を行った。

III. 議題

III-1. 新規加入者の承認（資料3、中村）

26名の正会員の入会申請があり、全会一致で承認された。

III-2. 公益社団法人日本天文学会2016年度事業報告書の承認（資料7、山下）

ほぼ例年通りの活動をした。報告書内で、早川基金の援助(589万円→583万円)早川基金の当初予算(462万円→464万円)の2か所他の誤植の修正をしたのち、全会一致で承認された。

III-3. 公益社団法人日本天文学会2016年度決算報告書の承認（資料8、柴田）

貸借対照表の概略の説明があった。OUPからの送金が毎年次年度になっているため、大きな未収金が出ている。今まで積み立ててこなかった短時間契約職員の退職給付金の引き当て資産分を、2016年度に一括して積み立てを始めたため、大きな金額となっている等の説明ののち、全会一致で承認された。

III-4. 「日本天文学会委員会等に関する細則」改正案（資料9、10、半田）

「日本天文学会委員会等に関する細則」の第3条を改正して天文教育普及賞選考委員会を新

設する案を代議員総会へ提出することが全会一致で承認された。それに関連して、以前の代議員総会で第3条改正の議論で要求された、次期以降の理事会で承認されることを目指した「日本天文学会天文教育普及賞内規」の案が示され、上記細則の参考資料として、この「内規案」を代議員総会へ提示することが議論された。ワーキンググループ原案を一部修正し、参考資料として提示することが全会一致で承認された。

III-5. 「代議員選挙施行細則」の改正再提案（資料11、市川）

全会一致で承認された。

III-6. 委員会オブザーバーの名簿記載について（山下）

委員長からオブザーバーの名簿記載の依頼があった場合は、掲載することが提案され、全会一致で承認された。

[資料リスト]

資料1 理事会出欠表

資料2 公益社団法人日本天文学会理事会（3月15日）議事録（案）

資料3 新規加入者・加入予定者。移籍・退会の報告

資料4 監査報告書

資料5 年会事業報告

資料6 事業提案・インターネット版 日本天文学会「天文学辞典」の作成

資料7 公益社団法人日本天文学会2016年度事業報告書

資料8 公益社団法人日本天文学会2016年度決算報告書

資料9 「日本天文学会委員会等に関する細則」第3条改正案

資料10 日本天文学会天文教育普及賞内規案

資料11 「代議員選挙施行」の改正提案

2017年5月20日

会 長：市川 隆 印

副会長：半田 利弘 印

副会長：望月 優子 印

監 事：松原 英雄 印